第三章 市場と貨幣

第一節 物々交換の不便さ

物々交換は、欲望の二重の一致を必要とする。パンを欲しがるパン屋が、靴を欲しがる靴屋を見つけなければならない。この偶然は、市場が小さいうちは、ほとぼりが冷めるまで待つ程度の問題だった。

第二節 貨幣の発明

貨幣は、誰もが受け取ることを前提とした、共通の交換券である。金属の重さを量り、刻印を打つ作業は、国家が最初に引き受けた。刻印は、品質と重さの保証であり、偽造は重い罰の対象だった。

第三節 価格と需要

価格は、需要と供給の交点で、毎日動く。パンが足りなければ、パンの価格は上がり、パン屋は窯を増やす。この動きは、誰かが命じたものではない。

附 录